

特集

幸せを呼ぶ愛情ぼたもち

「金持神社の棚からぼた餅」製造スタッフ

金運・開運祈願に毎年多くの人を訪れる金持神社。今、参拝者や観光客に人気の縁起物があります。その名も「金持神社の棚からぼた餅」。ぼたもちがどのように作られているのか、人気の秘密は何かなど、ぼたもち製造スタッフの皆さんに話を聞きました。

「お土産に食べるものがあれば」
がきっかけ

全国でもここにしかない縁起の
良い名前でも知られ、毎年、金運・
開運祈願で多くの人が訪れる金
持神社。同神社の近くで町観光
協会（小谷澄男会長）が運営する、
日野町観光物産館金持神社札所
（売店）では、縁起物や町の特産
品を販売しています。

今、黄色いハンカチや扇子、
絵馬などと並んで、参拝者や観

「皆さんに思いがけない幸運が

舞い込むように”

今では人気の縁起物の一



光客に人気なのが「金持神社の
棚からぼた餅」です。これは、
参拝者などから「お土産に食べ
るものがあれば」という声を受
けて、町観光協会が商品化した
もので、平成25年2月26日に発
売されました。ことわざを用い
た愛嬌たっぷりの名前は、「皆さ
んに思いがけない幸運が舞い込
むように」と名付けられました。
そのネーミングと、神社で祈願
された縁起物とあって、すぐ評
判に。札所だけの限定販売でし

ぼたもち製造スタッフの皆さん



▶後列左から、松本沙代子さん（根雨）、稲田武子さん（根雨）、柴田郁子さん（根雨）、
▶前列左から、谷口清子さん（下榎）、森田順子さん（根雨）、柴田京子さん（下榎）

たが、昨年にはJ R西日本の一
部売店でも期間限定で販売され
るようになるなど、人気の縁起
物の一つになっています。

日野町産米を使った 田舎のぼたもち

「金持神社の棚からぼた餅」は、
町内の製造所で、現在6人のス
タッフにより製造されています。
「田舎のぼたもち」をテーマ
に、日野町産のもち米とうるち
米、そして粒あんをたっぷり使っ

た、一度は食べたことのある懐
かしの味です。ぼたもちの一つ
一つがスタッフの手作りで、ほ
どよい柔らかさとあんの甘さが
口いっぱい広がるのが人気の
一つとなっています。

そんなぼたもちも販売開始か
ら2年を迎えます。これまで
に作ったぼたもちは、およそ
7000箱（1箱6個入り）。普
段のぼたもち作りの様子やぼた
もちに寄せる思いなどを聞きま
した。